

クラス番号	633	担当教員名	斉藤 雅茂
テーマ	高齢者の保健・医療・福祉ニーズと社会福祉調査		
著書・論文 研究課題等	<p>Development of an Instrument for Community-Level Health Related Social Capital among Japanese Older People: The JAGES Study. <i>Journal of Epidemiology</i>. (in press)</p> <p>Is social network diversity associated with tooth loss among older Japanese adults? <i>PLoS ONE</i>. 11(7): e0159970. (2016)</p> <p>生活保護に対する厳格化志向の年齢階層による相違と関連要因. <i>貧困研究</i>. 16 : 101-115. (2016)</p> <p>Does poor dental health predict becoming homebound among older Japanese? <i>BMC Oral Health</i>. 16:51, (2016)</p> <p>Community social capital and oral health in Japanese older people: longitudinal cohort study. <i>BMJ Open</i>. 6:51.(2016)</p> <p>認知症を伴う要介護認定発生のリスクスコアの開発; A G E Sプロジェクト 5年間のコホート研究. <i>日本認知症予防学会誌</i> 4(1) : 25-35.(2016)</p> <p>高齢者のセルフ・ネグレクト事例の類型化と孤立死との関連; 地域包括支援センターへの全国調査の二次分析. <i>厚生学の指標</i> 63(3) : 1-7. (2016)</p> <p>Synergistic or independent impacts of low frequency of going outside the home and social isolation on functional decline; A 4 year-prospective study of urban Japanese elderly. <i>the Geriatrics & Gerontology International</i>. (2016)</p> <p>高齢者の自立した地域生活を支える生活支援の構成要素と時間帯による相違; 24 時間対応型 L S A 事業による生活支援記録より. <i>日本の地域福祉</i>. 29 : 69-79.(2016)</p> <p>地域福祉実践の「見える化」にむけたデータ活用の課題. <i>地域福祉実践研究</i>. 7 : 10-14.(2016)</p>		

ゼミナール概要

キーワード：高齢者福祉，社会調査，データ解析，実証研究，健康格差，社会的孤立，認知症，介護保険制度，地域福祉，地域診断，ニーズ，貧困・社会的排除，公衆衛生学，社会老年学

目的，内容，方法等：

私たちもいつか高齢者になります。高齢化は誰もが必ず「自分ごと」になる領域であり，日本の福祉社会のキーワードであり続ける課題です。本演習では，主に高齢者・高齢化の諸問題を中心にして，学術論文や専門書，公的文書等を輪読しながら，皆さんの関心を深めていきます。私自身「学際的」に研究活動をしていることもあり，卒論のテーマは，キーワードに記載したものを含め，高齢者の保健・医療・福祉に関するものであれば何でも構いません。また，調査データの解析に挑戦してみたいという方には個別にもサポートしますのでぜひ本ゼミにエントリーして下さい。個々の状況は異なりますが，最終的に全員が「学士号として恥ずかしくない水準」の卒業論文になるよう研究指導をします。

一部パソコンを使った演習も行いますが，基本的には関連文献や資料について輪読を重ねて，各自の関心テーマの焦点化を図ります。また，卒業論文に関連したレポートを年に数回は提出してもらい，すべて添削および反省会を行います（書く力・伝える力の習得）。例年，春休みには卒業研究の中間報告会を行っています。フィールド・ワークや卒業生へのゲスト依頼，他大学との交流，その他企画はメンバーの希望を踏まえて調整します。

授業計画：

- － 3年前期には，上記テーマに関連した専門書を輪読し，「読む力」「伝える力」「聞く力」の向上を目指します。その後，論文・資料の探し方を演習し，各自の関心に即した論文の輪読を重ね，レポートおよび卒業研究計画書にまとめていきます。その際に，レジユメの作り方やプレゼンテーションの仕方についてもお互いに評価して，各自のスキルアップを図ります。
- － 3年後期には，卒業論文で取り組む課題を焦点化し，各自，研究計画書を作成することで，資料や根拠に基づいた文章の書き方（書く力）の習得を図ります。そのために，各自の関心に即した論文レビューを重ねます。SW 実習とも重なるため，参加メンバーの希望に合わせて，専門演習の内容は適宜調整します（2016年度はエクセル演習・白書読解・計画書の添削を実施）。
- － 4年次には卒業論文の執筆に取り組みます。ゼミでは，進捗状況を中心に報告・ピアレビューを重ねて，お互いに課題を確認していきます。とくに国家試験を控えている人には，確実に合格できるように夏休みまでに卒論完成を目指して指導しています（あとは個々の努力次第・・・）。4年後期は，ゼミメンバーの希望に応じて内容を決めています（2015年度はPC演習・マナー講座・コミュニケーションゲームなどを実施）。

担当教員からのメッセージ



皆さんの関心事を深める場であり，皆さんが安心して議論できる場にしたいと思っています。ゼミを通じて，自ら探求して何かを発見すること，他者と議論することの楽しさを味わってもらえたら嬉しいです。多少不器用でも努力することをいとわない方や誠実な方は大歓迎です。他方で，他人がやってくれるのを待ちたい人や「いかに楽して単位を取得するか」が最優先課題の人にはお勧めしません。4年間の集大成として，与えられた課題をこなすだけでなく，ぜひ様々なことにチャレンジし，遊ぶときは遊び，一緒に実りの多いゼミにしていきたいでしょう。